大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス(2019年度)

配 当 期 [担当教員名	ゲームプログラミング前期 ・ 後期 ・ 通岩田 君昭プログラマ、ディレク股のディレクション業別		形態		ュグラミンク 通常 ・ 集ロ				00D1		
担当教員名	岩田 君昭			į	通常・集5	_b	出 片 *				
	プログラマ ディル	履修グル	p			'	単位数	$\frac{4}{2}$	単位		
実務経験の内容	プログラマ、ディレク 般のディレクション業績			2D(MP)2E(SP)		授業方法	i ii	寅習		
		プログラマ、ディレクターとして遊技機の開発会社に22年間勤務。遊技機のソフトウェア開発と、開発全 股のディレクション業務に従事した。これら実務経験をもとに、ゲーム作成方法や作品制作ついて話をする。									
学習一般目標	2 Dゲームプログラミングに必要な基礎知識を学習する。 ゲームプログラミングに必要な画像の表示・キー入力・当たり判定・音の再生など基礎知識の習 得と、専用ライブラリを利用した簡単な 2 Dゲームを作成できるようになることを目標とする。										
授業の概要および学習上の助言	専用のライブラリを利用して2Dゲームプログラミングに必要な基礎知識の学習と、サンプルゲームの作成をおこないます。とはいえゲームの作り方はジャンルや仕様によっても様々なアプローチがありますので、教科書のサンプルだけでは無くその内容に沿った形で他のプロジェクトの紹介や課題なども進めていきます。サンプルや課題など多くのプログラムにふれることで、今後の作品制作の際の参考にしてください。										
教科書および 参考書 履修に必要な 予備知識や技能	Game Programming 1 Game Programming 2 C/C++の基本的な知識、ゲームプログラミングの基礎知識を習得していることが望ましい。										
使 用 機 器	実習室 Windows PC (Windows 10)										
使用ソフト											
学習到達目標	学部 DP(番号表記)学生が達成すべき行動目標1・22 Dゲームプログラムに必要な基本的な処理を作成できる。1・2・4簡単な2 Dシューティングゲームが作ることができる。1・2・4簡単な2 Dアクションゲームが作ることができる。1・2・4サンプルで実装した内容を参考に、オリジナルのゲームが作成できる。5講義とプログラム実習に意欲をもって取り組むことができる。										
		大験 クイン 小テス	ズ レオ	ポート	成果発表	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
達成度評価	総合評価割合 1.知識・理解 学 2.思考・判断		6	70 30 20				30	100 30 20		
	部 3.態度 D 4.技能・表現 P 5.関心・意欲			20				30	20		
	評価方法 試験 クイズ・小テスト	評価の実施方法と注意点 授業期間中に出題する演習課題の提出									
評価の要点 - - -	成果発表 作品 ポートフォリオ	業への意欲、				が総合的に	こ判断する				

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の 運営方法	学習課題 (予習・復習)
第1週 /	授業概要・シラバスの説明 ライブラリでの基本処理の確認 Chapter1~6	講義・実習	
第2週 /	Chapter7 シューティングゲーム (復習) Chapter8 音の再生	講義・実習	
第3週 /	Chapter9 画面遷移 Chapter10 テクスチャアニメーション	講義・実習	
第4週	Chapter11 ワールド座標とスクリーン座標	講義・実習	
第5週 /	Chapter12 テキストファイルの読み込み Chapter13 ウインドウ設定	講義・実習	
第6週	Chapter14 アルファブレンディング Chapter15 FPS	講義・実習	
第 7 週 /	Chapter16 基本アクション	講義・実習	
第8週	Chapter17 アクションゲーム	講義・実習	
第9週 /	Chapter17 アクションゲーム	講義・実習	
第 10 週 /	Chapter17 アクションゲーム	講義・実習	
第 11 週 /	Chapter17 アクションゲーム	講義・実習	
第 12 週 /	Chapter18 エディタの作成	講義・実習	
第 13 週 /	Chapter18 エディタの作成	講義・実習	
第 14 週 /	(予備)まとめと課題	講義・実習	